

「市立病院まもれ」 は市民共通の願い

福田明市議の一般質問から



秋季体育祭 (磯原中学校)

市議会に満席の傍聴

9月14日、市議会の一般質問がおこなわれました。朝から傍聴席は満席。市立総合病院の医師大量引き揚げ問題が伝えられるなかで「市立病院は一体どうなるのか」と、不安視する多数の市民が詰めかけました。

この日の一般質問では、福田明議員を含めて3名の議員が「市立総合病院」問題を取り上げ、

市長の姿勢を質しました。

8月の議員全員協議会の席上、市長から「現在勤務している27名の医師のうち11名が来年3月末までに筑波大に引き揚げるか、開業するためやめざるをえない危機的事態」で

衆議院議員選挙結果 (北茨城市内)

(比例代表)

政党名	得票	(前回)
自由民主党	9418	(8835)
民主党	8802	(7831)
公明党	3903	(3483)
日本共産党	1463	(1138)
社会民主党	1136	(992)
新党日本	874	-

(小選挙区)

候補者	得票	(前回)
岡部英明	13033	(11016)
大畠章宏	11643	(10267)
藤田邦良	1296	(1413) (大内智子)

あるとの説明を受けました。

市民から批判の声

すでに8月末で3名の医師が辞め、9月末で2名の医師が辞める予定で、患者の多くも他の病院を紹介されているのが実情です。市民からは「市長は何をやっている。議員も同じだ」という激しい批判の声が出されています。

福田議員は質問のなかで、「なぜこのような事態に至ったのか。市長の医師確保の対応は歴代市長に比べてどうだったのか」などを問いましたが、市長からは「研修医制度が変わり、大

学に医師があまり残らない。医師の都会志向、開業志向が原因」と述べるにとどまり、踏み入った原因については答弁しませんでした。

東電からの12億円は市立病院のために

福田議員は「市立総合病院を守りたいというのは市民共通の願い。重大な事態に陥っている今日、市民の協力と理解を得るためにも市民集会を開催するべき。

東電から寄付された12億円はすべて医師確保を中心とした市立病院関連予算として使すべきである」と質問。これに対して市長の答弁

ご相談はお気軽に



市議会議員
鈴木やす子
☎42-2462



市議会議員
福田明
☎43-0468

は「住民との話し合いはしるべき時期に開く。しかし今は医師確保が重要。12億円については相手との取り決め(お船会館に3億円等々の計画)があり、信頼関係を損ねるのでできない」というものでした。

特別委員会を設置

一般質問終了後に議員全員協議会が開かれ、全議員が参加する「市立総合病院問題」の特別委員会が設置されました。日本共産党市議団としても「市民の命を守る砦」である病院存続のため、皆さんと力を合わせ

JCO臨界事故を忘れない 原子力事故をくりかえさせない 2005年 9.30 茨城集会

10月2日(日)午後1時30分～4時
東海村舟石川コミュニティセンター

オープニング ギターとフルートの演奏
講演 「低線量被曝の影響を考える」
(日本大学歯学部講師 野口邦和氏)

資料代 500円 保育あります
主催 9・30茨城集会実行委員会
問合せ 029-225-8662(新日本婦人の会茨城県本部気付)



「北茨城民報」はインターネットでもご覧いただけます。
<http://www.jcp-ktib.com/>
編集部では身近な情報をお待ちしています。